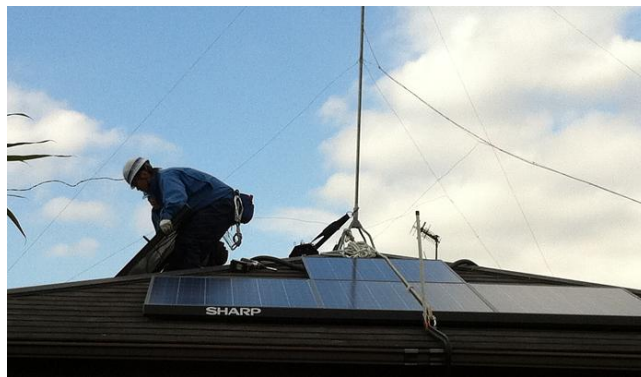


かながわソーラーセンター紹介による設置第1号宅の工事現場におじゃましました。



庭から、命綱を付けた作業員が台座とモジュールを取り付け中の南屋根

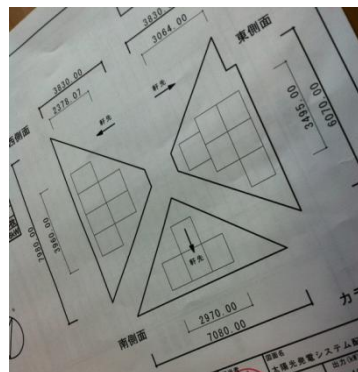


2012年2月8日、横浜市金沢区の飯田邸で太陽光発電システム設置工事が行われました。今年の冬は寒い日が続きましたが、ここ京浜急行沿線もこの日は珍しく晴天に恵まれた工事となりました。5名スタッフで朝9:00から15:00まで6時間の順調な工事でした。飯田さんが「かながわソーラーセンター」を知ったのは、神奈川県による市民への太陽光発電システム設置応援のニュースをテレビで見てすぐに県庁に電話したのがきっかけでした。数日後新聞を見て再度センターに電話されました。

飯田さんが太陽光発電システムを設置した理由は、普段から地球環境の事を考えていましたが、東日本大震災をきっかけに特にエネルギーや電気の事に関し自分の家でも何か工夫できないかと思いついたからだそうです。



将来は自分の子供達へのプレゼントになるだろうと、インタビューに答えて頂きました。



南4枚、東6枚、西6枚の計16枚で計2.496kWの発電所が生まれました。



外壁にパワーコンディショナー



台所内壁モニターで発電量が見える

費用や設置後の売電価格の詳細についてはそれほど気にされていませんでしたが、朝から工事を体験し、実際に発電メーターが付いたところで経済的な部分にも自然に興味をわき、今回の制度で非常に安く購入できたと喜ばれていました。又最初は重いパネルを屋根に載せる事が地震等も考え心配だったそうですが事前調査が丁寧だったことと、重量の問題や屋根の方向・形も考慮されていることで、今は全く安心されていました。最終的に16枚のパネルが3方向の屋根に載り2.496kWの発電所が生まれた事になります。遠い将来は自分の子供達へのプレゼントになるだろうと、たくさんのインタビューに答えていただきました。(PV-Net事務局 永木・藤井・高田)